

ふじさわで購入できる品種と購入時期

ぶどう 8月上旬から9月下旬まで、いろいろな品種が楽しめます。
藤沢の果樹の主力です。

りほう 電 宝	赤系の大粒ぶどうで甘みと酸味があっすっきりとした味。 実が落ちやすいので直売所での購入がおすすめです。																		
ふじ 藤 稔 (藤沢生まれ)	藤沢を代表する藤沢生まれの黒系の大粒ぶどうです。 酸味が少なく糖度もありとても食べやすい品種です。 ※令和7年「かながわブランド」に登録																		
クインシーナ	赤系の大粒ぶどう。高糖度で酸味が少なく上品な香りがあり、 甘くみずみずしいことが特徴です。																		
シャイン マスカット	黄緑色の円筒形のぶどうで、上品な香りを楽しめます。 実がしっかりとおり、最近流行の皮ごと食べられる品種です。																		
ピオーネ	黒系大粒品種で種なしが主。 糖度が高く適度な酸味があり、香りのよいぶどう。																		
7月				8月				9月				10月				11月			
上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬	
					電 宝				シャインマスカット										
					藤 稔				ピオーネ										
					クインシーナ														

なし 7月下旬から9月下旬まで味わうことの出来る藤沢のなし。
幸水・豊水が品種の主力です。

ちく 筑	すい 水	夏本番を迎える7月下旬から食べられて、やわらかな果肉とほどよい甘みを楽しめる品種です。												
こし 幸	すい 水	果汁たっぷりの果肉感で人気。 藤沢でも一番多く作られているポピュラーな品種です。												
しゅう 秀	ぎょく 玉	スーパーにはほとんど出回らないため、幻と言われるなし。												
ほう 豊	すい 水	ほどよい酸味と濃厚な味が特徴。 幸水より一回り大きく比較の日持ちもします。												
あきづき		甘みが強く、シャキッとみずみずしいのが特徴です。 実が大きいので、食べ応えもあります。												
7月		8月			9月			10月			11月			
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
			筑 水			秀 玉								
				幸 水			あきづき							
				豊 水										

りんご 北の地域のイメージが強いりんごですが、藤沢市内でも赤く実ったおいしいりんごがそろっています。

つがる	ほのかな酸味が甘みを引き立て、ほどよい甘さを持つ品種で、果肉もやわらかく 世代を問わずに幅広く人気があります。																		
わせ 早生ふじ	早い時期にできる品種で、9月中旬からりんごの爽やかな味を楽しむことができます。																		
ふ　じ	甘みと酸味の調和がほどよく、果肉もしまっていて貯蔵性にも優れています。																		
7月				8月				9月				10月				11月			
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		
										早生ふじ									
							つがる								ふ　じ				

かき 秋の味覚の一つ、柿。しっかりとした枝作り、土作りをしたおいしい柿を召し上げ！

たいしゅう 太秋	サクッとした独特の食感を楽しめる、柿の中では大きめな「柿の王様」と言われている品種です。													
じ次郎	カリッとした歯触りで、よく熟すと上品な甘みも加わる魅力的な品種です。													
ふぶ 富富	しっかりとした果肉感で柿の王道をいく品種です。 この地域では一番多く作られています。													
7月			8月			9月			10月			11月		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
										太秋				
												次郎		
												富富		

【生産者の声】



なし生産が全盛期の頃の写真

藤沢の果樹は、明治から昭和の初めに「桃の藤沢」として名をせたことから始まり、その後は時代背景と共に生産物も変化し、なしとぶどうを中心とした生産に切り替えてきました。

なし栽培の歴史は古く、明治38年には栽培の記録が残され、大正元年には藤沢町になしの木が1700本、収穫高は250貫(937.5kg)あったとの統計が残っています。

ぶどうの栽培は、大正8年に山梨から苗木を取り寄せて羽鳥で始まりました。「藤稔」や「紅義」といった品種が藤沢の生産者により生み出されるなど、藤沢のぶどう生産に対する意欲は高く評価されています。

現在では若い農業後継者の力も加わり、主力の2品目の他にりんごやみかんなどの栽培も行われており、皆さまに少しでも長い期間、藤沢のくだものを楽しんでいただけるように努めております。

藤沢では各農家が直売所を設け、お客様との対面販売をメインの販路としておりますので、是非直売所にお越しください。

お問い合わせ先

JAさがみ藤沢市果樹部

(事務局：JAさがみ藤沢南営農経済センター)

藤沢市湘南台2-31-8 TEL 0466-44-1856

藤沢市経済部農業水産課

藤沢市朝日町1-1 TEL 0466-50-3532

